

令和6年8月27日
平塚信用金庫

第6回 ひらしんファミリーコンサート
～家族で楽しむはじめてのオーケストラ～を開催します！

平塚信用金庫（本店：神奈川県平塚市 理事長 尾上達也）は、令和6年9月29日（日）に「第6回 ひらしんファミリーコンサート～家族で楽しむはじめてのオーケストラ～」を開催します。

本コンサートは、入場の年齢制限を設けないコンサートであり、市民によるオーケストラとして地域に根ざした音楽活動を行っている平塚フィルハーモニー管弦楽団による演奏をご家族そろってお楽しみいただけます。詳細は下記のとおりです。みなさまのご来場をお待ちしております。

記

（実施概要）

1. 日時

令和6年9月29日（日）13:30 開演（12:30 開場）

2. 会場

ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール（平塚市見附町16-1）

3. 演奏

平塚フィルハーモニー管弦楽団

4. お申込方法

入場は無料ですが、鑑賞には入場整理券が必要となります。整理券は当金庫本支店窓口に備え付けた申込書に住所、氏名、電話番号等をご記入いただき、その場でお渡します。整理券配布は先着1,000名です。各店での配布終了の際はご容赦ください。

以上

本件のお問合せ先 営業統括部 地域・経営サポート課
担当：佐竹 TEL0463-24-3031（平日9:00～17:00）

家族みんなで
ココロに残る
ひとときを♪

第6回

ひらしん ファミリーコンサート

家族で楽しむはじめてのオーケストラ!

2024年 9月29日(日)

指揮 田部井 剛

司会 金子 裕美

演奏 平塚フィルハーモニー管弦楽団

会場 ひらしん 平塚文化芸術ホール 大ホール

入場料 無料 (要入場整理券) 時間 13:30 開演 (12:30 開場)

プログラム

- シンフォニック マンボ No.5 宮川 彬良
- シンゴペイテッドクロック アンダーソン
- トランペット吹きの休日 アンダーソン
- 指揮者体験 (トトロから「さんぽ」)
- オーケストラストーリーズ
「となりのトトロ」 久石 譲

申し込み方法

下記の申し込み用紙に住所・氏名・希望人数・電話番号をご記入のうえ、平塚信用金庫本店店頭までお持ちください。入場整理券をお渡しいたします。
(なお、ご記入頂いた個人情報は「ひらしんファミリーコンサート」以外の他の目的には一切使用いたしません。)

対象 ご家族揃ってご来場される方を優先させていただきます。

人数 先着1,000名



主催：平塚信用金庫 共催：(公財)平塚市まちづくり財団 【お問い合わせ】平塚信用金庫 地域・経営サポート課 TEL0463-24-3031 (平日 9:00~17:00)

お申込書

必要事項をご記入お願いいたします。

ご住所・お名前・電話番号

ご来場人数のご記入をお願いいたします。

申込の状況によりご希望に添えない場合もございますが、ご了承ください。

■ご住所 〒 _____

■お名前 _____

■電話番号 _____

■指揮者体験に参加を希望する場合はし点をご記入ください。

【ご来場人数】

名

※参加者は抽選にて決定します。
当選された方のみ事前にご連絡いたします。
※参加は1家族1名です。



©井村重人

指揮
田部井 剛
[たべいつよし]

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。
これまでに指揮法を遠藤雅吉、神宮章、武藤英明、佐藤功太郎、ジェームズ・ロックハート、広上淳一、三石精一の各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひ、藤田雅の諸氏に師事。

1999年には芸大在学中に日本フィルハーモニー交響楽団にて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮（日本初演）。ソリストであるハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2002年には「モーツァルト名曲コンサート」にて再びハイドシェック氏と共演、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。青柳いづみこ著「ピアニストがみたピアニスト」<Pianistes vus par pianiste>（白水社刊）では、そこでの協奏曲における絶妙な指揮ぶりについて著述されている。2003年には室内合奏団「カメラータ・ジオン」（Camerata Jion）を結成し、ヴァイオリニスト川島成道、チェリスト青木十良の諸氏と共演するなど積極的な活動をしている。2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。そのライブ録音が仏アンテグラル社（Integral Classics France INT 221.156）よりリリースされている。また、漆原啓子、宮田大、林峰男、上村昇、永井和子、佐々木典子、カテリーナショット、宗次郎、クミコ、岡本知高、故江戸家猫八、谷川俊太郎などジャンルを問わず内外の様々なアーティストと共演し、高い信頼が寄せられている。

このほか群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京佼成ウインドオーケストラ、ザ・シンフォニーホールチェンバーアンサンブル等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリヒ室内管を指揮し、モーツァルトの交響曲をレコーディング、そのCDがキングインターナショナルよりリリースされている（STUDIO FLORA B-2704）。

2010年には日本フィルハーモニー交響楽団にて文化庁主催公演（計9公演）を指揮した。2012年より桐蔭学園「第九の会」指揮者を務める。2013年には伝説のチェリストと謳われる、クリスティヌ・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、カメラータジオンを指揮、氏より「偉大な才能」と高く評価された。2018年にはハイドシェック来日50周年記念ツアーを指揮し、その公演は音楽の友誌上等で絶賛される。

また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル（Fritz Dolezal）、勝部太、寺谷千枝子、平松英子諸氏と共演している。2009年には白土文雄（チューリッヒ・トーンハレ元首席コントラバス奏者）のレコーディングにチェンバロ奏者として参加、Harmony社より「モノローグ」がリリースされた（HCC 2049）。2012年にはドビュッシー生誕150周年に際し、浜離宮朝日ホールにて行われた、文学キャバレ「黒猫」とその仲間たち、また、カワイコンサートサロン「パウゼ」にて行われたドビュッシーフェスティバル2012に出演、青柳いづみこ氏と連弾曲を演奏、好評を博した。2013年には再び白土文雄とのデュオアルバム「Basso d'Amore」をOpus 55よりリリースし、稀有な室内楽奏者としての高い評価がなされている（OPFF-10019）。2020年にはカブレ編によるピアノ2台6手版ドビュッシーの「海」のCDをottava社よりリリース、レコード芸術誌特選盤となる。上毛芸術文化賞受賞。



平塚フィルハーモニー管弦楽団



平塚フィルハーモニー管弦楽団は、「平塚に市民によるオーケストラを」という志をもった平塚市在住の音楽愛好家を中心となり、平成3年3月に設立されました。

当初「平塚室内合奏団」としてスタートしましたが、翌年の第1回定期演奏会以降団員数が増加したため、平成6年5月に現団名に改称しました。

また、この前年には団の活動を物心両面から支援する「平塚フィル賛助会」が発足しています。

定期演奏会を含め、年2回の自主公演をベースに、財団法人平塚市文化スポーツまちづくり財団主催の「湘南ひらつか第九のつどい」、「平塚市民オペラガラコンサート」、「はじめてのオーケストラ」等に多数出演してきました。また公民館主催のファミリーコンサートや、小中学校での音楽教室などにも積極的に出演し、地域に根ざした音楽活動を行って、地域文化の向上に寄与しています。

